

広島大学 校友会だより

第13回 広島大学ホームカミングデー

ホームカミングデーの人々。

先輩インタビュー
広島電鉄株式会社 代表取締役社長

棕田 昌夫 さん

(1969年 政経学部卒業)

夢の系譜 ドリームチャレンジ賞が育てたもの
広島大学熱気球サークル B.C.有頂天
広島大学農業サークル 田口虫

広大ネットワーク



Hiroshima University Alumni Association

広島大学校友会

オープニングセレモニー

サタケメモリアルホール 開場 9:40~

第1部
10:10~

「序曲」演奏

ensemble「KYO-ON」

学長ご挨拶

広島大学長
広島大学校友会会長
越智 光夫



表彰式

- 広島大学長表彰
- 広島大学長特別表彰
- Phoenix Outstanding Researcher Award
- 広島大学教育賞表彰



開催

第13回 広島大学 ホームカミングデー

2019(令和元)年11月2日(土) 広島大学東広島キャンパス



大学歌
合唱

ホームカミング広場

サタケメモリアルホール周辺 10:40~17:00



連携市町の物産展

広島大学と連携協定を結ぶ市町から特産品が並びます。福島県の物産ブースも登場します。



校友会学生チーム企画

お好み焼きやステージ、先輩見つけ隊など在校生の企画が一日中來場者を楽しませます。



第2部
10:55~

ensemble「KYO-ON」

オマージュコンサート

第13回ホームカミングデーのゲストスピーカー、
片岡鶴太郎さんを歓迎するミニコンサートです。



講演会 片岡 鶴太郎氏 「流れのままに」

マルチな才能を発揮する鶴太郎さんの源泉

片岡鶴太郎氏のプロフィール

1954年、東京都西日暮里出身。

幼少の頃より、役者になることを夢みて、学校でも人気者として親しまれた。高校卒業後、片岡鶴八師匠に弟子入り。3年後、東宝名人会、浅草演芸場に出演。その後、バラエティー番組を足掛かりに広く大衆の人気者になる。目下、幅広いキャラクターを演じられる役者として活躍し、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など数多くの賞を受賞。

2014年～2017年にかけて、還暦と画業20周年を記念した個展「還暦紅」を、全国20カ所で開催し、34万人を動員した。

【書家としては、2015年3月、書の芥川賞といわれる「第10回手島右卿賞」、同7月「第32回産経国際書展功労賞」を受賞。】

また2017年5月、インド政府公認プロフェッショナルヨガ検定に合格し、インド政府より、ヨガマスター、ヨガインストラクターの称号を授与され、第1回ヨガ親善大使にも任命される。

2018年4月、第5回「ヨガジャーナル presents Yoga People Award 2018」にて、ベストオブヨギーを受賞。

2018年末から自身の画業25周年と芸能生活45周年を記念した「片岡鶴太郎展 顔 -faces-」を東京・松屋銀座を皮切りに、大阪・阪急うめだ本店など、全国各地を巡回中。

懇親会 (会費制)

時 15:30~ 場 学生会館

誰でも参加できる立食パーティ。学長、教職員や校友会学生チームの在学学生も参加します。



卒業生特別出展

総務省「異能 vation 2018」受賞 ブラジルにつながる穴

穴をのぞけば、すぐそこに広がる非日常。アイデアと実現力で「異能ジェネレーションアワード」を受賞した卒業生・東信伍さんが穴を持ってホームカミングします。

総合科学部・総合科学研究科

時 13:00~15:00

場 総合科学研究科第1会議室

英語でチャレンジ! 一多言語・多文化教室

時 13:00~14:00

広島大学では英語による授業を奨励しており、総合科学部でも英語で行う授業を増やしています。昨年度から始まった国際共創学科の学生は大半の授業を英語で受けています。また、総合科学部の学生も英語で行われる授業にチャレンジしています。本セッションでは、英語の授業を履修した学生たちが、苦勞したことや自分自身の変化について語ります。

大学院進学のおすゝめ

時 14:00~14:10

大学院進学について、大学院再編の状況を含め、紹介します。

総合科学部後援会総会

時 14:20~15:00

- 1 平成30年度会計の決算
- 2 令和2年度事業計画
- 3 学生の就職状況

問 総合科学研究科支援室

☎ 082-424-6303・6409

工学部・工学研究科

時 13:00~15:00

場 工学研究科112講義室、220講義室他

「OB・OG交流アワー」

時 13:10~15:00

1. 講演

- ・「工学部・工学研究科の現状」研究科長
- ・元広島大学工学同窓会専務理事

2. 各類型学会（共同企画）

- ・普段は立ち入ることのできない研究室を公開します。

保護者のための オープンキャンパス

時 13:00~15:00

進学及び就職の近づく学部3年と博士課程前期1年の保護者を対象に、情報提供及び今後の進路選択等について相談できる場として実施します。

【プログラム】

1. 講演

- ・「工学部・工学研究科の沿革と現状」副研究科長
- ・「博士課程前期に進学して」大学院生
- ・「大学院で工学を学ぶ」若手教員

2. 各類型説明会・見学会（共同企画）

- ・研究室見学・座談会など

問 工学研究科支援室

☎ 082-424-7505

文学部・文学研究科

文学部で味わう 世界のティータイム

時 14:00~16:00

場 文学研究科講義棟1階学生ロビー、B104教室

留学生が、それぞれの出身地のスイーツやドリンクをふるまいながら出身地を紹介する企画も今年で14回目。すっかり定着してリピーターも増えています。今回は中国、インドネシア、台湾からの留学生がお話する予定です。

問 文学研究科支援室

☎ 082-424-6604

教育学部・教育学研究科

オペラ 「子どもと魔法」上演

時 13:30~14:30、16:00~17:00
(2回公演)

場 教育学部音楽棟演奏室 (F101)

小道具、大道具、舞台装置、照明、衣装などを教育学研究科と教育学部の院生、学生、教員が協力して製作し、オペラを上演します。今回は一部衣装をひろしまオペラ・音楽推進委員会の協力で、新国立劇場等で使用したものをを使う予定です。「国立大学フェスタ2019」参加予定。

問 音楽文化教育学講座事務局

☎ 082-424-6834

法学部・経済学部・ 社会科学研究科

パネル展示

「パネルで振り返る法学部・経済学部・社会科学研究科の1年」

時 13:00~17:00

場 法学部・経済学部研究棟A102中会議室

法学部・経済学部・社会科学研究科で、過去約1年間で実施した講演会、シンポジウム、ユニークな授業等をパネル展示で紹介します。

問 社会科学研究科支援室

☎ 082-424-7203

生物生産学部・ 統合生命科学研究科

時 13:00~15:00ごろまで

場 生物生産学部 C206講義室

生物生産学部70周年記念式典

第1部：除幕式

第2部：講演会

新プログラムなどこれからの学部取り組みの紹介

大学院統合生命科学研究科についての紹介

学部70周年記念出版企画の説明

学術講演：輝ける未来へ

問 生物学系支援室

☎ 082-424-7904

理学部・理学研究科

理学研究科化学専攻 化学教室創設 90周年記念 祝賀・懇親会

時 13:00~15:30頃まで

場 西条 HAKUWA ホテル
(東広島キャンパス近く)

理学部化学科は、1929年(昭和4年)広島文理科大学が開学された際に誕生し、創設90周年を迎えました。この長い歴史を祝い、化学科にゆかりの卒業生、現職教職員、元教員の皆様にお集まりいただき、記念祝賀・懇親会を開催します。

※事前に参加予約が必要
<http://hiroshimakagaku.jp/news/2019/06/05101829>

13:00 集合写真撮影
13:30~ 祝賀・懇親会
2時間程度

問 理学研究科

☎ 082-424-7420

理学研究科生物科学専攻 令和元年度 広島大学理学部 生物科学同窓会 記念講演会

時 12:30~15:30

場 理学研究科 E209

講師：長久 逸氏
(広島県立総合技術研究所)
1979年 理学部 卒業
1981年 大学院理学研究科
修士 修了

演題：未定
理学部生物科学科・理学研究科
生物科学専攻の卒業生・修了生
をお招きして講演会を開催します。

12:15 受付開始
12:30 開会
12:45 学科長による
学科紹介
13:00 記念講演会
14:00 懇親会(～15:30ごろ)

問 理学研究科生物科学専攻

☎ 082-424-7439

理学研究科地球惑星システム学専攻 ホームカミング シンポジウム 「官公庁での仕事」

時 13:00~17:00

場 理学部B棟603号室

地球惑星システム学科・専攻の卒業生をお招きしての講演会と大学院生によるポスターセッションを開催します。

講演会講師：

梅原 徹也氏
(資源エネルギー庁 H6卒業)

木原 昌二氏
(原子力規制庁 H10卒業)

藤原 みどり氏
(気象庁 福岡管区気象台
H13修了)

問 理学研究科地球惑星システム学専攻

☎ 082-424-7462

究科企画一覧

情報科学部

15:30まで生激論— AIが人間を越える?!~ シンギュラリティと人類

時 13:30~15:30

場 工学部・情報科学部218講義室

- ・パーセプトロン、ニューラルネットワーク、ディープラーニングへの進化…ムーアの法則
- ・ターミネータなるものが現れるのか?
- ・「AI・機械学習の発展」と「人類の発展」の狭間で、広島大学情報科学部は今後どう立ち回る?!
- …等々について一般参加者、学生を巻き込んで徹底討論!

【プログラム】

13:30~14:30

リトアニア ゲレザウスカス氏による前座講演(リトアニアでのAIの近況報告等)

14:30~15:30

討論 モデレータ主導の下、班に分かれた学生等が自由に発言します。

問 工学研究科支援室

☎ 082-424-7505

文書館

写真パネル展 「広島大学の歴史」展

時 10:00~17:00

場 サタケメモリアルホール ロビー

広島大学のキャンパスや学生生活の移り変わりを、写真パネルを通して振り返ります。

問 広島大学文書館

☎ 082-424-6050

総合博物館

ふむふむギャラリー 「魚がつくる模様と形」展 ~アマミホシゾラフグのつくる ミステリーサークルの秘密に迫る!~

時 10:00~17:00

場 総合博物館 本館

魚の大きさや色は種による違いだけでなく、成長の段階によっても違いが見られ、幾何学的な模様や形のように不思議で美しいものを見ることが出来ます。また、魚がつくる構造物もあり、その用途や形状は様々です。ふむふむギャラリーでは、アマミホシゾラフグのミステリーサークルの3Dモデルやパネルで、魚がつくる模様と形の多様性について、最新の研究成果を交えて紹介します。

問 広島大学総合博物館

☎ 082-424-4212

先端物質科学研究科・ 統合生命科学研究科

科学の先端が分かる

時 11:00~16:30

場 先端物質科学研究科、
ナノデバイス・バイオ融合科学研究所

■研究室公開

研究内容のパネル展示や研究室内の見学、実験の様子を見たり、装置に触れたりしていただけます。

- 光の科学と技術
- 未来のエネルギー：水素(燃料電池自動車の展示)
- レアメタル・レアアースを集める微生物
- 見えないものを見てみよう
- 先端半導体デバイスとその試作ライン

■講演会

先端物質科学研究科の卒業生をお招きして講演会を開催します。

問 先端物質科学研究科支援室

☎ 082-424-7007

国際協力研究科

IDEC OPEN Day

時 12:00~17:00

場 国際協力研究科周辺

2013年以来開催しており、今年で7回目。年々来場者が増加しており、「誰でも参加できる国際イベント」として地域に定着しています。

- 留学生によるステージでのパフォーマンス
- 各国の郷土料理の提供
- 民族衣装や写真撮影による国際交流

問 国際協力研究科院生会

☎ 082-424-6905(国際研支援室)

東千田地区 法務研究科

11月16日(土) 東千田キャンパス

法科大学院講演会

「司法・報道の立場から見た家庭裁判所70年」

時 13:30~15:30

場 東千田校舎A棟3階302講義室

講師:

清永 聡(きよなが さとし)氏
(NHK解説委員)

本学の卒業生でNHK解説委員としてご活躍される清永聡氏をお招きし、ご経験を踏まえお話しいただきます。



著書:「気骨の判決 -東條英機と闘った裁判官-(新潮新書、2008年)」
「家庭裁判所物語(日本評論社、2018年)」ほか。

問 東千田地区支援室

☎ 082-542-7014

ホームカミングデー特別体験企画

放射光科学研究センター

先端科学研究の現場を探訪!

時 10:30~16:00

場 放射光科学研究センター

- ・放射光実験施設の見学(15分程度)放射光を発生する加速器(放射光源)と放射光を使う実験装置(ビームライン)を間近に見ることが出来ます。
- ・演示実験(随時実施)
-196℃の液体窒素に触れたり、超伝導の曲芸や光・磁気を使ったおもしろ実験で子どもから大人まで楽しめます。

問 放射光科学研究センター事務局

☎ 082-424-6293

宇宙科学センター

東広島天文台観望会

時 17:00~19:00

場 東広島天文台(バスで送迎)

定員50名(先着順)

16:30 受付開始(ホームカミングデー総合受付)

17:00 キャンパス発

17:30 東広島天文台
木星、土星、月等の観望と、4Dシアター鑑賞

18:30 天文台発

19:00 キャンパス着

曇天の場合は天体観測ができないので設見学のみのみ。

雨天の場合は中止することもあります。

問 宇宙科学センター

☎ 082-424-3468

霞地区合同

医学部・歯学部・薬学部・
医系科学研究科・
原爆放射線医科学研究所・大学病院

11月9日(土) 霞キャンパス

講演会

放射線災害復興に於ける広島への役割
~福島原発事故での経験~

時 15:00~16:30

場 広仁会館大会議室(霞キャンパス)

講演者:

神谷 研二氏

(広島大学副学長、福
島県立医科大学副学長)

福島復興支援や国内
外の放射線災害に於
ける広島が担う役割に
ついて紹介します。



問 霞地区運営支援部

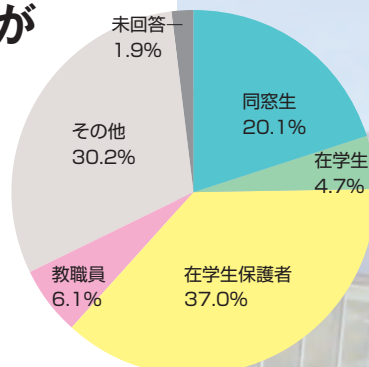
☎ 082-257-5013

ホーム カミングデーの人々。

2018年11月3日、さまざまな人が 東広島キャンパスに集まった。

毎年、広島大学ホームカミングデーには約4,000人の方々が来場されます。メイン会場のサタケメモリアルホール前広場を歩く人は、年齢も服装も、実にさまざま。年配のグループ、若いカップル、小さな子ども連れ、もちろん一人歩きの人も……。

広島大学ホームカミングデーには、さまざまな方に楽しんでいただけるプログラムが用意されています。



第12回広島大学ホームカミングデー参加者の内訳

※メイン会場受付での「参加者アンケート」から

キャンパス各所で在学生のイベント開催 ホームカミングデーは 「キャンパスフェスティバル」

ホームカミングデーの会場は、オープニングセレモニーや講演会が行われるサタケメモリアルホールとその周辺。物産展のブースが並んでにぎわいます。ここで、校友会学生チームがさまざまな企画を展開。来場者をおもてなしします。また、この日は「キャンパスフェスティバル」と銘打って、大学祭、教育学部祭E-Stormなど各所で在学生のイベントが開催されています。



校友会学生チームステージ企画
在学生のクラブやサークルのパフォーマンスをお楽しみください。



IDEC OPEN Day

国際協力研究科(IDEC)で学ぶ研究科生たちが国際性豊かなプログラムを用意。毎年人気を集めます。

ホームカミングしました！

イベントで頑張る後輩を
応援したい

上野 裕介さん

(2018年
総合科学研究科修士課程修了)
タイムズサービス(株)勤務



広島大学、大好きなんです。今でも研究室や先生のところに顔を出しています。学生時代からホームカミングデーや大学祭などイベントのたびに裏方としてサポートしていたので、卒業しても後輩の頑張りを応援したいと、できるだけ出かけるようにしています。これからも転勤がなければ出かけたと思っていますが、顔見知りの後輩が少なくなると敷居が高くなるかなあ。

卒業生。

卒業生との絆を深める 学部・研究科企画

ホームカミングデーは、年に1回、卒業生をキャンパスに迎えるイベント。各学部・研究科の多くは、毎年、工夫を凝らして卒業生にホームカミングを呼びかけています。

一般的には、卒業して年月が経つと母校を訪れる機会もなくなります。特に用がなくとも、顔見知りがいなくても、「卒業生」というだけで学部・研究科まで訪ねることができるのがホームカミングデー。自分たちが学んだ頃と比較しながら広島大学の変化を実感してください。

年に1回、大学に還ってほしい 理学研究科 地球惑星システム学専攻の 卒業生向けプログラム

毎年、卒業生をパネラーとして招き、シンポジウムを開催しているのが理学研究科地球惑星システム学専攻。ホームカミングデーを「卒業生がキャンパスに還る日」と位置づけ、研究科と同窓会の共催で企画を展開しています。

広島大学の地学系卒業生は「六水(りくすい)会」という同窓会をつくっています。現在の世話人は、早坂康隆准教授と白石史人助教。兩人とも広島大学大学院理学研究科出身です。「もともと地学系は所帯が小さいうえに、在学中の見学旅行や実習などで一緒に行動する機会が多く同窓意識が強いのでしょう、同窓生の消息はかなり把握できています」とのこと。これを基にしたメーリングリストで毎年参加を呼びかけています。

企画の特長は、シンポジウムのテーマを卒業後の活躍の場に絞っていること。「民間企業の技術者」「女性研究者」と続き、2019年は「官公庁での仕事」として開催することになっています。



ホームカミングしました!

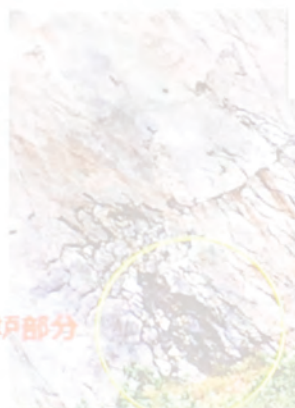
学生時代の気持ちを 思い出します

田島 詩織さん
(2016年 理学部卒)
(株)荒谷建設コンサルタント勤務



実家が大学の近くなので、ゆかた祭や大学祭などのイベントの時には大学に行きます。研究室にも、できるだけ顔を出すことにしています。シンポジウムにも何度か参加しました。「立ち寄って聴講する」という気軽な参加ですけど。でも、シンポジウムで最近の研究内容や大学の雰囲気に触れると学生時代のフレッシュな気持ちを思い出して、地球惑星システム学科関連の研究の面白さ・魅力に再度気づくことができます。

オキ天然原子炉



オキ天然原子炉の写



理学研究科地球惑星システム学専攻の早坂康隆准教授。話題になった「日本最古、25億年前の石」の発見者です。



シンポジウムではかなり専門的な内容も。同じ教室で学んだ者同士だからうなずけます。



懇親会

シンポジウムの後は懇親会(六水会主催は隔年)。「シンポよりもこちらを楽しみに来られる大先輩もいらっしゃいます」と早坂准教授。

保護者。

「大学生活を実感する」 またとない機会

ホームカミングデー来場者アンケートで3分の1以上を占めたのは「保護者」。大学祭など让学生在主体的に開催するイベントも多く、「子どもがどんな大学で、どんな生活を送っているのか、もっと知りたい」と来場し、ホームカミングデーにも参加して下さるようです。中には、遠隔地からご家族で来場して下さるケースもあります。これにあわせて保護者を対象とした企画を実施する学部・研究科もあります。

工学部の実際を見ていただきたい 工学部・工学研究科 保護者のためのオープンキャンパス

工学部は、大学院進学者が約7割を占めており、学部卒業か進学か迷う学生・保護者が多くなります。こうした特殊性から、工学部・工学研究科では、学部2、3年生と大学院博士課程前期1年生の保護者を対象に、2016年から「保護者のためのオープンキャンパス」を開催しています。

研究室の見学などを通して学生生活の一端を実感していただくほか、卒業後の進路に関する情報を提供することが目的。「実際に大学院に進学した学生の話聞き、研究室を見学して、しっかりとした情報で納得して選択してほしい」と担当者は言います。

参加した保護者の満足度は高く、再度の参加を希望する保護者も9割。今年も学部3年生と博士課程前期1年生に絞って開催することになりました。
(学部1・2年生保護者向けには「広島大学地域懇談会」が開催されます。詳しくは右ページをご参照ください。)



参加者が多く毎回サテライト会場が用意されます。特に関心が高いのは教育・研究の内容、就職。(アンケートから)



保護者の皆さんに人気の研究室訪問。工学部での学びや研究をリアルに感じることができます。

**今年のホームカミングデーは
11月2日(土)。
ご来場をお待ちしています。**

参加しました!

**就職についての息子の気持ちを
聞くきっかけになりました。**

小野 知幸さま (大分県在住)

参加して良かったと思います。実際に研究室の中まで見せてもらって、息子が普段どんな環境で勉強をしているのかが感じることができました。なかなか研究室まで覗くことはできませんから。それに、内定をもらった先輩の話聞いて、夜、息子の気持ちを聞くことができました。これが一番の収穫でした。それまで就職のことを話す機会がなかったのです。おかげさまで、希望の企業に内定をいただいて、ホッとしています。



保護者向け「広島大学地域懇談会」の開催

広島大学では、学部1年次生及び2年次生の保護者・ご家族の皆様を対象に、本学の教育の取組みや学生生活、留学、就職・キャリア支援などについてご紹介し、広島大学をより深く知っていただくことを目的に、昨年度から保護者向け「広島大学地域懇談会」を開催しています。

今年度は、神戸、広島、長崎、松山の順に4地区（会場）で開催します。

内容は、本学の修学・キャリア支援等に関するご案内・ご説明のほか、広島大学の卒業生・大学院生が体験談などの講演を行います。また、情報交換会や個別相談では、保護者・ご家族の皆様からのご質問にお答えします。

開催日時・開催場所は右表のとおりです。

保護者向け「広島大学地域懇談会」専用WEBサイト

URL https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/chiikikondankai_2019



神戸会場 日時：2019年10月19日(土) 13:00~16:30

場所：三宮研修センター 605会議室ほか
兵庫県神戸市中央区八幡通4-2-12
カサベラFRⅡビル

広島会場 日時：2019年11月2日(土) 13:40~17:15

場所：広島大学東広島キャンパス
法学部・経済学部255講義室ほか
広島県東広島市鏡山1-2-1

長崎会場 日時：2019年11月30日(土) 13:00~16:30

場所：長崎新聞文化ホール（アストピア）
3F 珊瑚の間ほか
長崎県長崎市茂里町3-1

松山会場 日時：2019年12月21日(土) 13:00~16:30

場所：松山市総合コミュニティセンター
3F大会議室
愛媛県松山市湊町7-5

お問い合わせ先

広島大学地域懇談会事務局 TEL:082-424-6533 ※月~金 9:00~17:00(12:00~13:00除く)

FAX:082-424-6170

E-mail: kyoiku@hiroshima-u.ac.jp

2019年全日本学生ダートトライアル選手権大会 男子団体優勝!!

広島大学自動車部

「全日本学生ダートトライアル選手権大会」は全日本学生自動車連盟が主催するメイン競技大会の一つ。ドライビングテクニックを駆使して、未舗装の道路を走り抜くタイムトライアルレースです。2019年8月4日(日)、栃木県の丸和オートランド那須で開催された2019年大会で、男子が団体優勝、女子が団体準優勝を果たしました。



練習で磨いたドライビングテク

自動車レースはクルマの性能に左右される部分が多いけれど、ダートは比較的ドライバーの操縦テクニックの比重が大きい。広大は、練習量で私大を圧しています。実は、安芸高田市にあるTSタカタサーキットの社長が学生を応援してくれていて、格安に使わせてもらってるんです。コースでの練習は僕たち部員の個人負担なので、ものすごく助かってます。

優勝ドライバー

角井 達哉 工学部3年 (写真:前列右)



先輩、お世話になってます!!

先輩方にもサポートしてもらっています。なにしろ自動車部は年間300万円くらいかかります。僕ら部員もアルバイトでいくらか負担するけど、とても追いつけない。先輩たちの自動車部同窓会の応援があるから、今回の優勝もある。栃木の大会にも事前練習から先輩が来てくださいました。ちなみに、ジムカーナ用のクルマは校友会のドリームチャレンジ賞で購入しました。

優勝ドライバー 井上 翔太郎 経済学部2年 (写真:前列中央)

“ダートの強豪”から総合優勝へ

広大はダートでは強いんです。3年前も優勝しているし、それ以外も準優勝が続いています。自動車部は都市の私大がほとんどで、資金力では絶対かなわないけど、その中で広大は頑張ってます! 応援をお願いします!! 僕らは12月の大会で部を引退するけど、OBとして次のダート大会優勝、そして総合優勝と後輩たちの活動をサポートしていきたい。

優勝ドライバー

北野 彦歩 工学部3年 (写真:前列左)

代理 林田 将史

工学部3年

北野主将はインターンシップ中。副将の林田が代理です。



先輩、応援ありがとうございました。
来年は僕たちも一緒に応援します!

夢の系譜

ドリームチャレンジ賞が育てたもの

ドリームチャレンジ賞の助成で「やりたいこと」を実現した在學生。「やり遂げた!」経験を持つ卒業生。ドリームチャレンジ賞が育てた夢たちをご紹介します。

第12回ドリームチャレンジ賞受賞

広島大学で44年の歴史をもつ熱気球。 その文化と魅力を広めていきたい。

広島大学熱気球サークル B.C. 有頂天

かなえ
金榮 秀平さん (総合科学部 3年)

東広島市上空の風物詩?!

秋から春にかけて、広島大学周辺の空に優雅な姿をみせる熱気球。操縦しているのは、1975年創設の「熱気球サークル B.C. 有頂天」です。フライトのみならず、依頼に応じて各地に遠征し、搭乗体験(係留)なども行っています。「もちろん、競技としての熱気球にも力を入れています」と話すのは、1年次から同サークルに入部し、日本気球連盟公認のパイロット資格を取得した金榮秀平さん。「熱気球の大会は全国で開かれています、中でも大規模なものが佐賀インターナショナルバルーンフェスタです。ハイレベルな大会に出場して入賞しよう! みんなでそう目標を決めて、昨年初めてドリームチャレンジ賞に応募しました」

フライトは基本的に風任せ

大会は2018年秋に5日間にわたって開かれ、同サークルは67チーム中38位(総合成績)という結果に終わりました。「佐賀は初めて飛ぶ土地だったので、エリアや気象情報の事前収

集には特に気を配りました。でもまだまだ準備やスキルが必要でした」と振り返ります。熱気球の操縦はとても繊細で、人間が可能なコントロールは上昇・下降のみ。あとは進みたい方向に吹く風をその場で見つけ、常に変化を予測しながら飛行します。素早い状況判断が、競技レベルを左右するのだそうです。

昨年の経験を生かしランクアップを

自分の後に続くパイロットを始め、気球を地上の車から追うドライバーや、地上で風を観測して上空ヘータを送るクルーを育成し、「今年も佐賀の大会に出たい。去年よりも順位を上げたいです」と意欲を見せる金榮さん。

同時に気球の文化を根付かせ、魅力を地域に発信していきたいとも話します。イベントなどで熱気球を上げた時、子どもたちの笑顔や、お年寄りの興味深そうな反応を見るとすごく嬉しくなるそう。広大で長い歴史をもつサークルとして、一つひとつの活動を地道に続けていくことは、B.C. 有頂天の原点と呼べるものなのでしょう。



金榮秀平さん
日本チーム代表メンバーとして、ポーランド遠征も経験。学生のうちに技術を磨き、将来はOBチームなどで活躍することが夢。



部員は1・2年生を中心に約30名。「安全を第一に、みんなで楽しく熱気球を飛ばす」がサークルに代々伝わる合言葉。



2018佐賀インターナショナルバルーンフェスタで、B.C. 有頂天が飛ばした赤×白の熱気球「マーシュ」。このフェスタの競技(タスク)は18種類あり、熱気球を飛ばしてどれだけ正確にターゲット(ゴール)にマーカー(砂袋)を投下するかで競う。タスク別では9位に入賞。



「農業と関わりたい」という思いを 実現した「田口虫」。 今でも後輩たちが引き継いでいます。

平田(旧姓中塚) 翔子さん
(2010年教育学部卒)



現在の平田翔子さん。「13年間も田口虫の活動が続いているのは歴代の後輩の皆さんのおかげ。感謝しています」

「広がれ!! 若者による農業!!」

広島大学に「田口虫」というサークルがあります。ユニークな名前ですが、活動もなかなかユニーク。野菜を育てて収穫し、美味しく食べる—ささやかな自給自足を体験する農業サークル。今年もいちごやかぶ、サツマイモなどを収穫しました。

この田口虫、実は、ドリームチャレンジ賞が後押ししてスタートしたサークルです。

ドリームチャレンジ賞は、学生の自由な活動を応援しようと広島大学同窓会が創設したものです。田口虫は、創設翌年、2006(平成18)年の第2回ドリームチャレンジ賞の助成プロジェクトでした。応募したのは教育学部1年の中塚翔子さん(当時)。「広がれ!! 若者による農業!!」というテーマで、「若い世代と農作業を行い、農業に対する親近感や魅力を感じ、新たな視点を築いてもらうこと」を活動目標として応募しました。

「半農半X」への第一歩

その後中塚さんは結婚して、今は「平田翔子さん」。三児の母です。なぜ大学で農業を?という質問に「離農二世」の複雑な思いを語ってくれました。

一人暮らしの祖父が農業を続けていることを気にかけていた平田さん、自分が農業を継ぐべきではないかという葛藤があったそうです。結局、教員を目指す決めて広島大学に入学しましたが、農業は、気持ちの一部にずっと存在し続けていました。

平田さんが心を引かれたのは塩見直紀さんが提唱する『半農半X』。やりたい仕事を持ちながら農業で自給するというライフスタイルです。賛同してくれる友人と大学近くの畑を借りて野菜作りを始めました。

しかし、耕すには農機具が必要で、植える苗やケアするための肥料も購入しなければなりません。そこで、ドリームチャレンジ賞に応募して同窓会の支援を仰いだのです。

できたこと&できなかったこと

結果、同窓会から30万円の援助を受けることができ、「田口虫」はスタートしました。ちょ



活動を始めたころの田口虫。まったくのゼロ状態から手探りの旗揚げだったが、「農業経験なし」も含め、農業に関心を持つ学生が一定数いるという手応えは十分感じられた。

うどその年、中国新聞が「若者と農業をつなぐ農業フォーラム」を開催。他大学でも農業支援や農地で起業を目指すグループが活動していることを知り、意見交換をすることもできました。収穫したジャガイモを大学生協に納入して使用してもらう企画も実現。賛同する学生も40人以上になり、翌年、田口虫はサークル化することになりました。

「でも、できなかったことも多かったです。賛同者は多数ありましたが、常駐するメンバーが少なく、外部の農業団体から声をかけていただいても、力不足で連携することができませんでした。反省はいっぱいあります」と平田さん。

それでも、田口虫は平田さん卒業後も活動を続け現在に至っています。後輩の中にはJICA(国際協力機構)の海外協力隊員としてアフリカで農業指導にあたったメンバーもいました。

人生のドリームチャレンジ

卒業して10年近く。平田さん自身の現在は、子育てをしながら小さな家庭菜園で「半農半X」を実践する生活。子育てが落ち着いたら再び教育の現場に戻りたいと、少しずつ準備を進めているところです。平田さんの祖父は、叔母夫婦と一緒に暮らしながら農業を続けています。

農業人口の減少、高齢化が問題とされるなか、新規で農業に参入する49歳以下の人は増え続け、ここ10年で3倍以上にのぼっています。「若者と農業の距離を縮める」という田口虫の活動は、こうした流れの中に位置づけられるものかもしれません。

それ以上に、半農半Xという生き方に向けて着実に人生を歩いて行く平田さんを応援できたことは、学生の自主的な活動を支援するドリームチャレンジ賞の成果と言えます。



現在の田口虫。部員は30人以上、耕耘機や草刈り機などの農機具も揃ってきた。「日々の手入れを怠らなければ、野菜は自ら立派に成長してくれます。でも、手を抜くと病気にかかったり、逆に手をかけすぎると栄養過多になったり、なんだか人間の親子関係みたいでしょう。野菜を育てる面白さを田口虫で知りました」と、現代表の川原湧さん(経済学部3年)が話してくれた。

夢は見るだけじゃだめ。 夢はつくるもの、 実現させるもの。

“チンチン電車の広電”のイメージが変化しています。広島駅前広場乗り入れや循環ルート新設、広島大学跡地の免震タワーマンション建設、働き方改革の先を行く人事労務制度……新しい動きが続き、ニュースで「広島電鉄」の名前に触れる機会が多くなりました。その変化の先頭に立つのが、広島大学同窓生の棕田昌夫代表取締役社長。長年にわたり蓄積され固まってきた組織の常識を、独自のやり方で少しずつ切り崩してきた実力者です。しかし、カーブと若い社員の話になるととたんに頬が緩んで言葉に力が入るのが印象的でした。

呉から広島へ自転車通学

学生時代の思い出といえば、酒を飲んで、JRの定期券を買う金を使い込み、自転車で通学したこと(笑)。JRと電車を乗り継いで2時間40分かかるところを、自転車をこいで通ったんですよ。さすがに大変で、パチンコで稼いで、すぐ定期通学にもどしたけどね。残りで北海道旅行をしました。

アルバイトは、地元で家庭教師。高校時代に柔道で実績をあげていたこともあり、広大なネームバリューもあって、家庭教師の口はいくつもありました。で、私は3、4人まとめて教えて、その分授業料を安くした。生徒さんも助かるし、私も効率よくアルバイトができる。そういうところは昔からアタマが回るんですよ。

北村先生の紹介状

経済原論のゼミの北村先生はとても紳士的な方だった。もともとは「北村先生は優しいから単位が取りやすい」と友達に聞いて、深く考えることなく選んだけど、先生のそばで学生生活を送れてよかった。あの頃は、勉強だけでなく人間的にも先生から教えられることが多かったですね。

北村先生には就職でもお世話になった。大学の推薦状をもらって東京の企業に就職するつもりですっかりその気になっていたところ、母に「広島において

■棕田昌夫さんのプロフィール

1946年広島県呉市広町生まれ。地元の小学校、中学校、高校から広島大学政経学部、1969年に広島電鉄に入社。根っからの“広島人”で、当然、カーブファン。「子どもの頃なげなしの小遣いを樽募金に寄付した。ところが、初優勝のとき流川に置かれた樽を見て、こんなに小さかったのか!と驚いた」と笑う。2003年取締役、2013年に代表取締役社長に就任。

くれんか」と懇願されてね。それまで好きなようにやらせてくれていた母がそんなことを言うのは初めてだったので、私も折れた。北村先生は「もう推薦状を出すことはできんが、紹介状を書いてあげる」と言ってくださって、まだ募集枠の残っていた広島電鉄に入社することになりました。

朝一番の掃除が教えてくれた

就職しても通うルートは学生の時と同じ。降りる電停がちょっと先になっただけですが、私は早い列車で行くことにした。早く出勤してみんなの机を掃除するんです。

広電は歴史もあり、広島交通をつつてきたというプライドも強い。その当時は、昔ながらのやり方がそのまま残っていて、新入社員はお茶汲み、掃除から。それなら、それを利用しようと私は考えた。朝一番に掃除をすれば、机の上にやりかけの仕事の書類や資料が置いてあるのが見られる。「へえ、こんな仕事が動いているのか」とか「こんな課題があるのか」とか、何となく分かるじゃないですか。そのうちに「こうした方がもっと効率的だ」とか思うようになるわけです。それで先輩や上司に言うと「おお、そうじゃのお」と言うことになる。そうやって、若いころから目立つ仕事をやらせてもらうようになった。

新入社員の意見を聞いてくれる上司も度量が大きかったと思いますよ。

出すぎたクイは打たれない

当然、叩かれることも足を引っ張られることもあります。でも、こっちは、かなり専門的なところまで徹底的に勉強して理解した上で提案しているので、結局は通ったりする。「出るクイは打たれる」と言うでしょう、しかし、出すぎたクイは打たれない。人と同じ土俵でやっていたら異論や批判も出やすいが、人が判断できないところに足場を持って行けば足も引っ張りにくいということです。

もう一つ大事なことは、理解者、味方をつくること。やることを決めたら、いっしょに遂行してくれる人をつくる。これは必須です。自分のやりたいことを話して理解者を増やしていく。そのうえで行動する。

“今の若い子”を誤解していた

自分がそんな生き方をしてきたので、今どきの若い社員には物足りなさを感じていた。「自分のやりたいことがないのかなあ」「そんな様子じゃ人を説得できんだろう」とか。でも7年前、呉市交通局のバス事業を引き継いだとき、社内で募った240人の社員が徹夜で動いてくれて、「絶対無理」と言われたプロセスをなんとかやりきることができた。私は専務として指揮をとっていたが、あの時は「若い社員のおかげだ」と脱帽しました。

若い子たち、やりたいことがないんじゃ

なく見つかっていないだけで、土俵をつくって方向性を示せばちゃんとやってくれる。——それから、若い社員にどんどん仕事を任せられるようにした。上司には、「やり方は若い子に任せる。失敗させる勇気を持って」と言っています。

広電の仕事が変わる

確かに、高齢化や人口減少は進む。しかし、観光などでの人口移動はものすごく活発になっています。広島をもっと面白い街にして、移動人口を広島に呼



び込む。これからは街づくりの競争です。そして、公共交通もプロデュースの中核を担っている。つまり、われわれの仕事が変わるということです。

私はね、夢は見るもんじゃなく自分でつくるものだと言っている。「こうしたい」と思ったことは自分の力で実現させる。今の私の仕事は、時代を先取りして夢を描きアドバランをあげること。その夢を現実にするのは若い人たちに任せたいね。

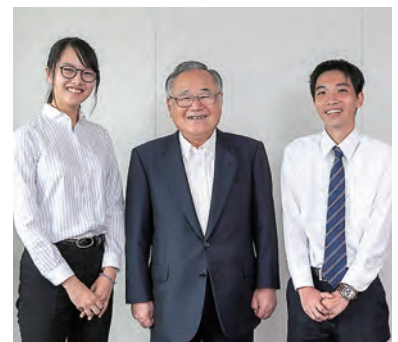
【取材を終えて】

篠原 美夏 (文学部2年 / 写真左)

◆「やりたいことをやるには理解者をつくるのが大事」という言葉に重みを感じました。組織の中で働くときに孤立してしまっただけでは、何もできません。他人にやりたいことを説明して説得し、理解を得るというステップの大切さを感じました。

住平 稜太 (経済学部4年 / 写真右)

◆広電と聞くと伝統的な企業で堅苦しいイメージを持っていました。しかし今は若い子に任せるようにしたということを知り、すごく働きやすい環境だなと思いました。この若い社員の方々が実現する未来の広島が楽しみです。



■広島電鉄株式会社

1910(明治43)年広島電気軌道株式会社として設立。広島県で電車、バス、不動産事業を展開する。2009年、日本で初めて契約社員の正社員化を実施。2017年には「多様な働き方」を実現するための制度を導入するなど、時代に先駆けた施策を打ち出して話題を集めている。

広大ネットワーク

東京

広島大学東京オフィス 首都圏での広大情報を集約

広島大学東京オフィスは同窓生が集えるさまざまな企画を開催しています。その中のいくつかをご紹介します。

■東京でカーブを応援企画

5月25日(土)の東京ドーム。巨人ー広島10回戦(東京ドーム)、赤色に染まった3塁側スタンドの一角を占めたのが、約200人の広島大学同窓生などの応援団です。毎年恒例の工学同窓会関東支部主催のカーブ応援企画、今年の第2弾がこの巨人戦。人気のカードだけあって申込みが殺到し、あっという間に完売しました。試合は5-7でカーブの勝ち。参加者は大いに盛り上がりました。

この応援企画をバックアップしているのが広島大学東京オフィス。近年、カーブのチケットは遠征先でも人気があり入手困難と言われていますが、東京オフィスに登録すれば応援企画が決まり次第、案内をお送りします。



■ワインパーティ

広島大学関東ネットワーク主催のワインパーティは今回で第4回。開宴・閉宴時間が決められているだけ、世界中の美味しいワイン(1974年政経学部卒の鎌田望さんがセレクトして提供!)を自由に味わうフリースタイルのパーティ。今回も大盛況でした。



■東京広大会

20代の広大卒業生が集まるプチ同窓会。今回も貸切お好み焼き店に約40人が集まりました。メーリングリストに登録すれば年数回、開催のご案内をお送りします。



■「就活道場～広大OBによる就活駆け込み寺～」



首都圏での就活で東京オフィスを利用する広大学生に、採用経験豊富な卒業生がESの書き方から面接までをアドバイスする企画。3月から5月にかけて開催し、延べ30人が参加しました。

また、東京オフィスのホームページでは、広大東京リアル部「就活道場主 アオキ」の連載を開始。大手新聞社で採用面接を担当した大先輩が役立つ就活情報を提供します。



■セミナーもいろいろ

広島大学の教員などによる専門的なセミナーも東京オフィスで逐次開催しています。5月28日(火)には、情報科学部西村浩二教授を講師に「ビジネスの必須教養 ネットワークとセキュリティの最新知識」を、広楓会(政経学部、法学部、経済学部同窓会)有志と広島大学関東ネットワークで共催しました。広島大学の研究者と社会をつなぐ「広島大学タマチラボ」も情報科学やゲーム編集をテーマに、東京オフィスで定期的に開催しています。いずれも午後6時からの開催なので、夕方、仕事を終えて参加していただけます。

■Webでも広大情報発信

広島大学東京オフィスのホームページ「校友会・同窓会などの活動支援」に広島大学関東ネットワーク 広大卒業生訪問数珠つなぎ「実は、広大です」というコンテンツがあります。首都圏在住の卒業生を訪ねてインタビューする企画で、最新は(株)カウテレビジョン代表取締役社長の高橋康徳さん(理学部卒)の訪問記。学生時代に作ったサークルからアンガールズが誕生したことなど興味深いお話も掲載されています。ぜひご覧ください。



首都圏の情報が集まる東京オフィスメールアドレスをご登録ください!

登録は無料。

ご案内したイベントなどへの参加・不参加は自由です。

[広島大学東京オフィス登録フォーム▶](#)



【問合せ先】

広島大学東京オフィス
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター(CIC)409号室
TEL 03-5440-9065
メール liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学体育会同窓会

約240人の総会と体育会へのプレゼント

■創設以来53年、絆の強さを誇る体育会同窓会

広島大学体育会同窓会が2月に広島市内のホテルで開催されました。今回は在學生を表彰する場である「結会」と合同での開催で、卒業生はもちろん在學生、教職員など総勢約240人が参加。半世紀以上にわたる広島大学体育会同窓会の絆の強さを示しました。

結会では、2018年に優秀な成績をおさめた在學生の団体・個人



を表彰。総会では、クラブやクラブ同窓会に貢献された卒業生8人に皇(すめらぎ)賞が贈られました。皇賞は、体育会同窓会の初代会長の皇至道(すめらぎ しどう) 第2代広島大学長にちなんで設けられたものです。

■体育会同窓会から学生用軽トラックを支援

「イベント時、テントなどの運搬に苦勞している」という在學生の声を受けて、広島大学体育会同窓会は広島大学体育会に軽トラックの購入費用を支援することになり、5月13日に寄付金が贈呈されました。



支えられたから支える——体育会同窓会の精神は受け継がれていきます。

広島大学校友会

ひろしまフラワーフェスティバル 2019
校友会学生チームが奮闘

3日間で170万人超の人々が集まったひろしまフラワーフェスティバル2019。広島大学校友会は、例年どおりブースを出展しました。3日間とも晴天に恵まれ、たくさんの方が立ち寄ってくださいました。ありがとうございました。

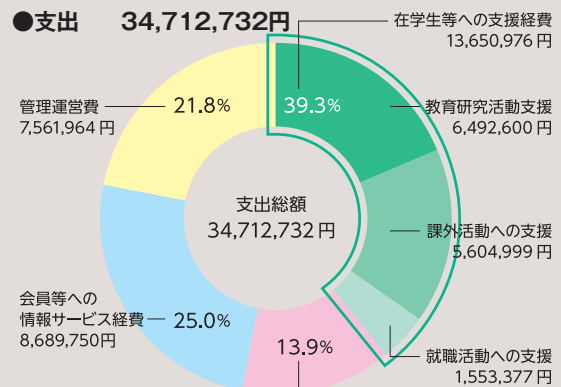


決算報告

●2018年度収支状況(2019年4月1日現在)

●収入 30,775,683円

●支出 34,712,732円



※2018年度末残高 46,459,375円

●入会状況(2019年5月1日現在)

個人会員 22,367名

(在學生7,226名、卒業生14,145名、教職員996名(離職者含む))

団体会員 99団体

(同窓会23団体、後援会10団体、登録団体66団体)



校友会会員用Webサービスをご活用ください。

広島大学校友会の会員が、パソコンやスマートフォンを通じて24時間、365日、どこからでも情報の登録・変更・会員検索ができるサービスです。正会員の方は、同期会など会員同士の連絡にもご利用いただけます。

※校友会正会員…広島大学の在學生・同窓生・教職員・元教職員で校友会に終身会費(¥20,000)を納付された方

校友会Webサービスを利用するには
申請手続を行ってください。

▶ <https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/touroku/web>



思い出は**歴史**になる。『広島大学75年史』NOW! ③
 お手持ちの写真・資料をご提供ください。

軟式庭球部誌『LINE』創刊の頃-1961年-



原田 茂さん 提供
 1962(昭和37)年工学部醗酵工学科卒業

ミッチーブーム*の影響で部員が急増し、お互いの顔もよく分からない状況となりました。そこで情報共有のため部誌を創刊することとなり、4年生だった私も参画しました。工学部は実験が多く学業とクラブ活動の両立は大変でしたが、同級生の協力もあって続けることができました。

*ミッチーブーム：当時、皇太子だった明仁上皇と美智子上皇后とのご婚約で湧き起こった一大社会現象。「テニスコートの恋」と言われテニスブームにつながった。

中・四国学生軟式庭球大会記念写真
 (1961年11月、前列中央が原田氏)

【連絡先】 広島大学75年史編集室 (担当：石田)

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学文書館内

電話 082-424-5120 FAX 082-424-6049 E-mail nenshi75@hiroshima-u.ac.jp



2018年 課外活動援助団体 広島大学弓道部

先輩方の支援に答えて
 全日本出場を果たしたい。



第63代
 海塚 収英 主将
 (総合科学部3年)

創設から数えて65代の広島大学弓道部。29人のメンバーが中四国学生弓道選手権大会優勝を目標に、週4日、弓道場で練習しています。監督やコーチを持たず、学生同士が試行錯誤、切磋琢磨しながら練習しているので、1~2カ月に1回、先輩と定期的に会合を持ってアドバイスをもらっています。練習の成果を試す競技会も多く、いい成績をあげると先輩方も喜んで支援してくださるので、ありがたい。頑張ろうと思います。当面のライバルは愛媛大学。実力伯仲ですが、昨年の中四国学生弓道選手権大会では女子が愛媛大学に勝って優勝。全日本学生弓道王座決定戦に出場して課外活動援助金を受けることができました。



1960(昭和35)年の弓道部 広島大学文書館提供